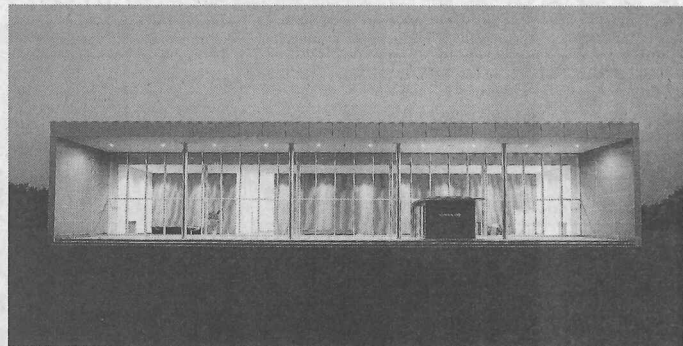


北陸発

Vol.18

「あっ!」と ホ～ム

家づくりと住まいを探る



ウッドリンク(富山県射水市)

住宅資材・製材のウッドリンク(射水市寺塚原415、原野剛行社長)はこのほど、体験型ショールーム「ウッドリンクラボ」の展示内容をリニューアルした。「森と木のゾーン」に「木質リビング空間」を新たに設け、来場者が木の魅力を十分に体感できるようにした。

「木質リビング空間」は、16畳のリビング・ダイニングをイメージした造りで、床材に国産ヒノキを、天井材やルーバー材には国産スギを、サッシのフレーム部分や建具にも木材を使用するなど、同社オリジナルの内装木質建材をふんだんに施し、木の魅力が感じられる癒しの空間となっている。原野社長は「実際に足を踏み入れてもらい、手触りのやわらかさや温もり、香りなどを体感してもらいたい。生活空間への

ラボに木質リビング空間

木の取り入れ方を具体的に提案すること、お客さまにとって生活シーンがイメージしやすくなり、木の良さを実感してもらえるはず」と趣旨を説明する。

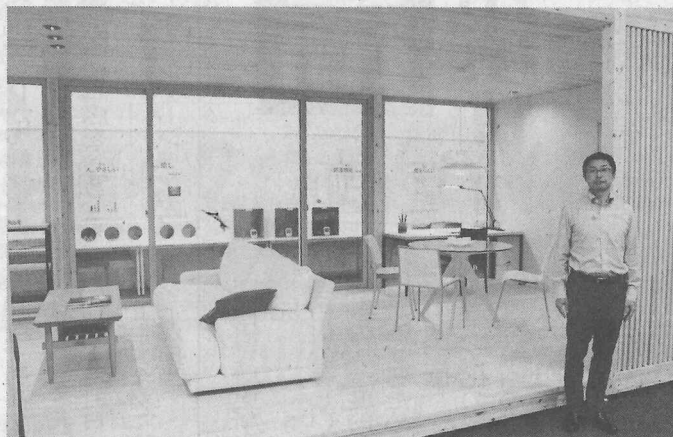
「ラボ」もオープンから3年半が経過。これまで大きなリニューアルも高めの

アルはなく「お客さまの伸びも頭打ちのような状況だったという。「工務店担当者や弊社スタッフにも、マンネリ感があつた。そこで新たな体感コンテンツをつくり、お客様の満足度とともに我々のモチベーションも高めよ

うという思いで、『木質リビング空間』を新設することになった。これを起爆剤に一層の誘客を図り、自社製品の普及にさらにつなげていきた」と意欲を示す。

今後の展示内容について「お客さまが求めるニーズにどう対応していくか、さらには北陸の気候風土にあつた家づくりを念頭に、体感コンテンツをさらに充実させ、飽きさせない仕掛けづくりに努めていきたい」と先を見据える。今回のリニューアルでは、国が提唱する「ゼロエネルギー住宅(ZEH)」の資料展示も拡充した。

同社では月2回(第2・4日曜日)、「ラボ」でイベントを開催している。25日にも予定し、最新省エネ住宅セミナーや耐力壁破壊実験「プレウォール工法VS筋かい工法」を催す。耐力壁破壊実験では、同社が開発した「プレウォール工法」と在来軸組み工法に実際に負荷をかけて強度を比較する。昨年には「三次元実大振動実験」として、積雪荷重10トを想定した試験体(2階建て延べ約100平方メートル)に震度7の地震動を2回繰り返し、その耐震性は実証済みだ。平日の見学も随時受け入れている。

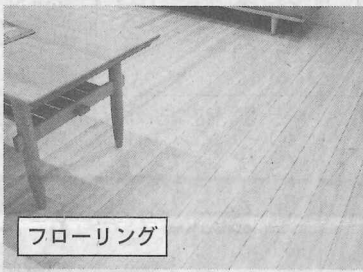


新設された「木質リビング空間」。右は原野社長

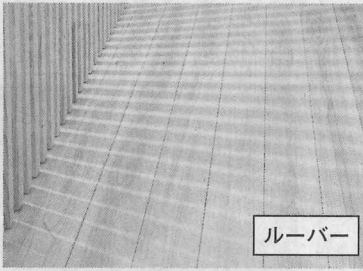
新たな体感コンテンツ創出



天井板



フローリング



ルーバー

同社では月2回(第2・4日曜日)、「ラボ」でイベントを開催している。25日にも予定し、最新省エネ住宅

同社では月2回(第2・4日曜日)、「ラボ」でイベントを開催している。25日にも予定し、最新省エネ住宅

同社では月2回(第2・4日曜日)、「ラボ」でイベントを開催している。25日にも予定し、最新省エネ住宅

イベント、見学とも事前予約が必要。問合せは同社(0766-841477)へ。

◆ 2013年9月にオープンした「ラボ」は、「エンドユーザーへの家づくり体験施設」と位置づけ、ビルダーやこれから家を建てようとする人に、「木の住まい」の魅力を伝える情報発信施設。施設内は研修棟、展示棟、試験棟で構成している。展示棟では▽森と木▽省エネ▽耐震の3ゾーンを設け、パネルや模型などを展示し、木材の魅力をわかりやすく紹介している。